

幼児教育学科 1年 前期 総合科目

1. 地域つくりかえ学
2. 情報処理 I

幼児教育学科

科目名: 地域づくりかえ学				担当教員 氏名: 学長、中村 尚紀、幼児教育学科専任教員 他		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	1年次 前期	総合科目	講義	必修		
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
主体的に地域の課題を学び、その解決のために必要な目標を設定し、具体的に「ひと・こと・もの」(地域社会)に関わる行動に移し、自身を「つくり、つくりかえ、つくる」実践力を高める。					教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」、『私』宣言、地域社会に生きる「私」、実践躬行	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)			1, 2, 3, 4, 5, 7, 8, 10	
D 問題解決力	問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を解決できる。					
E 自己管理能力	地域社会の「ひと、こと、もの」に働きかけ自己を律して行動できる。					
G 倫理観	自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。					
F チームワーク・リーダーシップ	【市民としての社会的責任】義務と権利を適正に行使しつつ、地域社会に生きる「私」になる。					
C 論理的思考力	【生涯学習力】自ら設定した目標(『私』宣言)に対して、それを行動に移し、「つくり、つくりかえ、つくる」の実践力を持つ。					
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: %	レポート: 33 %	発表: %	実技試験: %	その他: 67 %		
特記事項:「つくりかえレポート」と年間の「週フォリオ」を含めた様々な問題への取り組み状況によって評価する。各AD教員が、AD学生の評価にあたる。「つくりかえレポート」100点満点+「週フォリオ」100点満点評価+「自分づくりをすすめる意欲・態度」100点満点評価の合計を3で割った平均を評価点とする。本科目は、アクティブラーニングの一環として、前期中にボランティア活動を各学生1回以上行い、後期の「富山コミュニティ論」にて活動発表を行う。また、開病記文庫感想文コンクールへの参加を通して、支援を必要とする方への共感性やコミュニケーション能力を養う。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 (ディスカッション、ディベート) (グループワーク) プレゼンテーション (実習、フィールドワーク)						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:「つくりかえレポート」は第7回に課す。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:適宜AD面談等を行い、返却する。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①【学科長】建学の精神、教育目標「つくり、つくりかえ、つくる」と週フォリオ				4月10日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
②【学長】アカデミック・スキルズ① 主体的に学ぶ、倫理的思考について				4月17日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
③【永井常務】地域連携の重要性・必要性①				4月24日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
④【堀客員教授】地域連携の重要性・必要性②地域の魅力再発見				5月1日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑤【中村】ボランティア活動で自分発見				5月8日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑥【特別講義】アカデミック・スキルズ②「図書館の活用」(江藤裕子先生)				5月15日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑦【宮越】アカデミック・スキルズ③コーチング①				5月22日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑧【宮越】アカデミック・スキルズ④ コーチング②				5月29日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑨【宮越】アカデミック・スキルズ⑤ コーチング③				6月5日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑩【特別講義】地域に学ぶ「射水市放課後デネットワーク」(松井由利子先生 他)				6月12日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑪【学科】アカデミック・スキルズ⑥「グラフィックレコーディング基本編」(トークグラフィッカー山口翔太先生)				6月19日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑫【石津】アカデミック・スキルズ⑦ 石津先生				6月26日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑬【大川】アカデミック・スキルズ⑧ 大川先生				7月3日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑭【岡野】アカデミック・スキルズ⑨ 岡野先生				7月10日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
⑮【学科】卒業生の「つくり、つくりかえ、つくる」に学ぶ				7月24日	【復習】学習振り返り、レポート	60分
使用テキスト:『3000円のトマトはなぜ売れた? 未来を決める「1日10分」奇跡の習慣』かざひの文庫 ISBN: 978-4-86723-035-0				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 本学で大切にしている学びの基礎とあり方を追求する。積極的な「つくり、つくりかえ、つくる」を目指そう。						

幼児教育学科

1年

科目名: 情報処理 I				担当教員 氏名: 新田 雅道		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
近年の医療・福祉の現場において、電子カルテをはじめとして急速に情報化が進んでいる。また幼児教育の現場でも、園児記録や保護者通信などで、コンピュータを活用する場面が増えてきた。この科目では、コンピュータやネットワークの基本知識を学習し、各種ソフトウェアの基本的な活用能力を演習をとおして修得する。						コンピュータ、ネットワーク、ソフトウェア、ワード、エクセル、パワーポイント、情報セキュリティ
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)			
A 知識・理解力			1. 2. 8. ・コンピュータ、ネットワークの基礎知識、情報リテラシーを理解する。 ・Windows10の基礎知識を学習する。			
D 問題解決力			・文書作成ソフト「Microsoft Word」、プレゼンテーションソフト「Microsoft Power Point」の基本操作を修得する。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	20 %	実技試験: %
その他: 30 %						
特記事項: ・上記、「その他」では授業の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。 ・授業外の予習・復習が不可欠であり、反転授業(アクティブ・ラーニング)として、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業中後半に毎回課題演習を行う。またグループワークによる成果物を数回提出する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 授業中に出す演習課題については各学生毎にチェックする。またグループワークによる成果物については、グループでの関わり方の結果を伝える。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
① 情報化社会の現状とセキュリティの基礎知識の理解				情報化社会の現状と課題について調べる	【予習】30分 【復習】30分	
② ビジスマールの作成とマナーの理解				ビジネスシーンとメールの活用	【予習】30分 【復習】30分	
③ Wordによる文書作成(基本的な機能)の習得				Wordの基本機能を理解	【予習】30分 【復習】30分	
④ Wordによる文書作成(実用的な機能)の習得				Wordの実用的機能を理解	【予習】30分 【復習】30分	
⑤ グループによるドキュメント制作				GoogleWorkspaceのアプリ「ドキュメント」の活用	【予習】30分 【復習】30分	
⑥ プレゼンテーション技法とPowerpointによるスライド作成(基本的な機能)の習得				PowerPointの基本機能を理解	【予習】30分 【復習】30分	
⑦ Powerpointによるスライド作成(表、グラフの挿入、アニメーションの活用)				PowerPointの実用的機能を理解	【予習】30分 【復習】30分	
⑧ グループワークによる発表スライドの制作				GoogleWorkspaceのアプリ「スライド」の活用	【予習】30分 【復習】30分	
使用テキスト: 「イチからしっかり学ぶ! Office基礎と情報モラル Office2016対応」(noa出版)				その他参考文献など: 情報リテラシー(noa出版) Officeソフトで作る文書ドリル全55題(noa出版)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 授業での演習時間が少ないので必ず予習・復習をすること。グループでドキュメント制作をするので、チームワークのスキルを磨くこと。						